

貴重な映像を見て、御柱祭の熱気に触れる おんばしら館よいさ (下諏訪町)

諏訪大社では、七年に一度、寅と申の年に宝殿を造営し、社殿の四隅にある樫の大木を建て替える祭りを行います。
この祭りを「式年造営御柱大祭」、通称「御柱祭」と呼び、諏訪地方の六市町村二十一万人の氏子がこぞって参加します。

御柱祭がいつから行われているかは定かではありませんが、室町時代の文献に「桓武天皇の時代にも行っていた」という記録が残っており、1200年以上続いてきた祭りと考えられています。全国的にも知られているこの祭りは、木を伐採するところから大社に奉納するまですべて手で行われてきました。その手法や運営は、古くから連続と受け継がれてきています。

おんばしら館よいさは、この祭りに特化した物品が展示されている会館です。

疑似御柱をはじめ、実際の騎馬行列で使った衣装、おんべ、綱など多くの品々が展示されています。これらは直接見ることができ、諏訪の人々が守ってきた祭りの魅力や歴史に触れることができます。

MAP & アクセス

【車 で】中央自動車道岡谷ICから約15分
【電車 で】JR中央線下諏訪駅からタクシーで約5分



お問い合わせ：おんばしら館よいさ
諏訪郡下諏訪町168番地1 TEL 0266-26-0413



御柱を立てる時に使う「車地」。実際に使われたものです。



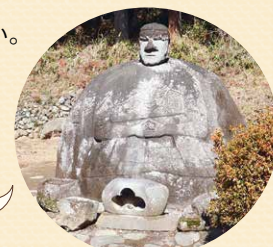
館のおすすめ「木落とし体験」。迫力ある映像と動きで疑似体験できます。

ご利用案内

開館時間 午前9時～午後5時（開館時間変更有）
入館料 大人300円／小中学生200円
* 団体割引、障がい者割引あり
* 木落とし体験は別料金・1人200円（身長120cm以上）
休館日 年中無休（※臨時休館有）
駐車場 なし。近くの駐車場をご利用ください。

！ 新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。マスク着用でご来館ください。

おんばしら館よいさの周辺には、見どころがいっぱい。春宮⇒万治の石仏⇒浮島社⇒おんばしら館よいさ⇒下馬橋のコースは、60～90分ほど歩いてまわることができます。



万治の石仏